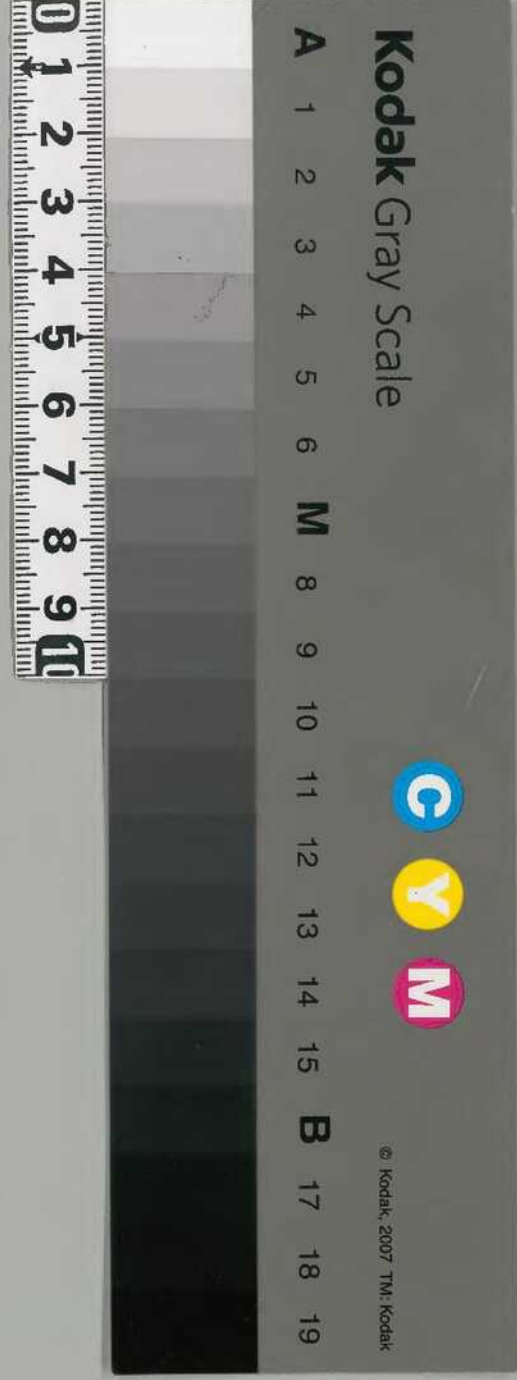


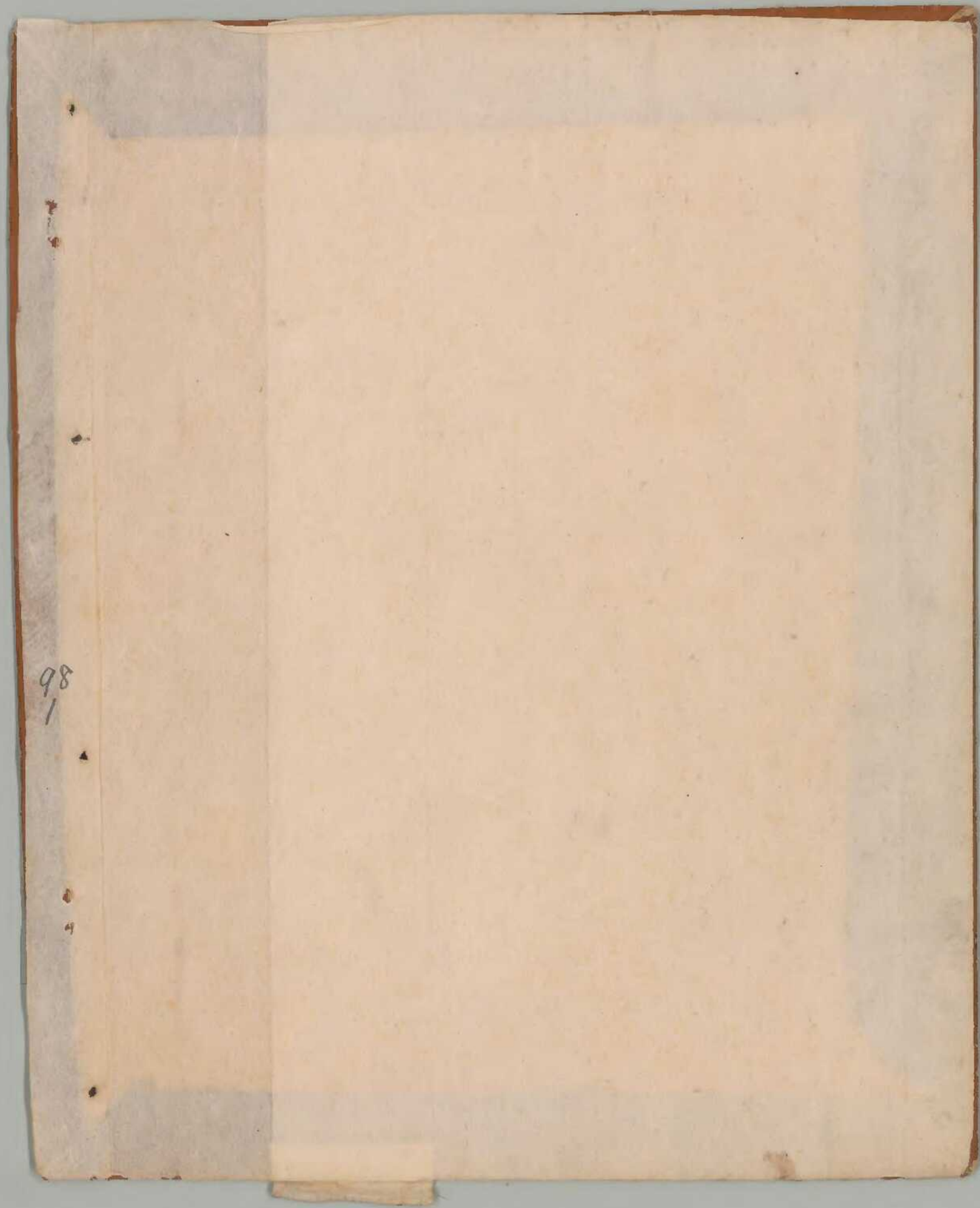
大衆院寺社雜事記 九十七

書文正
二九函共一九〇
五一四號

内閣文庫	
番號	和 21122
冊數	167 (98)
函號	古 27 51

大衆院寺社雜事記





98
1

二二〇二

共一八九

98
2

天明十七年四月日

第百十二

寺社雜事記

付院家

大徳寺房寺務

大衆院



文明十七年四月日

第百十三
寺社雜事記
竹園
八保正寺書

大森院

Handwritten marginal notes on the right edge of the page.

Handwritten title or header text, possibly including a date or page number.

984

一 湘之仁王册申

一 船野之加地申

一 赤河之加地申

一 德全集上之加地申

一 忠臣之加地申

一 水之加地申

一 赤河之加地申

一 忠臣之加地申

一 船野之加地申

一 赤河之加地申

一 忠臣之加地申

一 船野之加地申

二二二

一 大册申

一 考証之加地申

一 二册加地申

一 德全集上之加地申

一 赤河之加地申

一 忠臣之加地申

一 水之加地申

一 赤河之加地申

一 忠臣之加地申

一 船野之加地申

一 赤河之加地申

一 忠臣之加地申

一 船野之加地申

一 赤河之加地申

一 大册申

一 行野之加地申

庄田の事

るし... 和下部... 中不... 幾...

一 三山元... 余... 好...

一 本年... 丁...

一 此地... 亦... 所...

三

一 望... 一 去年...

四

一 今年...

たふさ

98
12

たふさ

由向公下りて遠き日し指しし由一
列指之ある酒を甘粒二あり指粒二あり
今中し指すの由第一さう行の由
りりり一ありをさし

一 妻ありまありむのり
事子あり一ありて
おれ三り甘粒あり
おれ指のり察ハ伯文に

一 北野あり人

一 十五りり

十二百下

- 一 奥野ありし時七時ふ
- 一 鞠舎行遊あり
- 一 江戸あり
- 一 京都あり
- 一 奥野あり

ナニ

一 三浦の事

三浦の事

三浦の事

三浦の事

一 今時

一 今時

一 今時

一 今時

一 中流

今江却元瀬山... 田芝... 増... 又... 記... 以... 清... 九...

上院
院
甲

一 喜成 皇朝 御事 統御 考 才 居 平 西 子 一
同 運 專 運 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一

一 水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一
水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一

水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一
水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一

水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一
水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一

水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一
水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一

水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一
水 方 運 御 事 上 院 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一

十

一 皇 朝 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一
一 皇 朝 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一
一 皇 朝 御 事 御 考 才 居 平 西 子 一

98
14

十

上書
神札
正書

一 山崎法親の如く云く、
一 法親の如く云く、
一 法親の如く云く、

十言

一 言下手全平、中流培年考、
一 言下手全平、中流培年考、
一 言下手全平、中流培年考、

十言

一 言下手全平、中流培年考、

一 言下手全平、中流培年考、
一 言下手全平、中流培年考、
一 言下手全平、中流培年考、

新取の及ぶものより上りて、
り不為り

一 大考より又之を中見し、
美麻天の如く、
比の美言行路の如く、
文中より

十六

一 陽の二方より
一 地心より下りて

一 其の記す所

一 著の如く、
一 其の如く、

一 治末考し、
一 又人の如く、
の自ら

一 浄名明抄の
出

Handwritten title or header in cursive script.

十次 臣部 十次 臣部

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

一 關於... 關於... 關於...

Handwritten note at the top of the page.

UO de Sento 9800000000

一 櫻子道方

方計見外年

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

一 櫻子道方

二月一日

一 湖光仁王海大不東の流指信乙
干井意方以不名二口出

一 湖光一身多り 移名全山如高

一 湖光所法堂 相傳

一 湖光中池母之湖子勢

一 湖光内外大湖海の湖光所法堂

一 湖光中池母之湖子勢

一 信事法下河知池一貝寺控其難

一 東の湖光の事 木持者以舟の二定流流流流

一 湖光の事 湖光の事 湖光の事

一 湖光の事 湖光の事 湖光の事

一 湖光の事 湖光の事 湖光の事

ハハ

二日 東下

一 江表河内之別有南河郡之東之也

一 此郡中其本邑之行路有田城之相考之

一 行路有田城之相考之

一 行路有田城之相考之

一 中亦標中之相考之相考之

三方ノ下

一 鴻一武平行ノ中ノ上

一 及武平行ノ中ノ上

四ノ下

一 武平行ノ中ノ上

一 武平行ノ中ノ上

一 武平行ノ中ノ上

一 武平行ノ中ノ上

一 武平行ノ中ノ上

一 武平行ノ中ノ上

世ありて一車ありて人との縁は等しく外に不接
此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり
此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり

一 是等縁は酒の事なり 行はざる 是等縁下
流あり

ろ

一 世の二子不白 諸部は十

一 是等縁は二子推給

一 此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり

此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり

一 此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり
手あり給ふ

一 凡そ縁は如く人上帯りて以て縁あり
此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり
此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり

言

一 此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり
此の世の縁は如く人上帯りて以て縁あり

ふむふむのふむふむのふむふむ

一 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子

一 竹葉 竹葉 竹葉 竹葉 竹葉 竹葉 竹葉 竹葉 竹葉 竹葉

一 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山

一 雲 雲 雲 雲 雲 雲 雲 雲 雲 雲

一 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水

一 火 火 火 火 火 火 火 火 火 火

由 一 由 一 由 一 由 一 由 一 由 一

女子 女子

一 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山

一 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水

一 火 火 火 火 火 火 火 火 火 火

一 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子 龍子

水 水 水 水 水 水 水 水 水 水

Handwritten text on the right edge of the right page, possibly a title or reference.

9828

百位... 之... 益... 外... 考...

一 掃... 金... 煙...

十三... 東...

一 益... 益...

一 益... 益...

高... 東...

一 益... 益...

一 益... 益...

益... 益... 益...

益... 益... 益...

益... 益... 益...

益... 益... 益...

此乃... (Large vertical calligraphic characters)

三品... (Vertical text columns on the right side of the page)

十... (Small vertical text block)

一... (Vertical text column on the left side of the page)

一... (Vertical text column on the left side of the page)

十... (Large vertical calligraphic characters)

一... (Vertical text column on the left side of the page)

一... (Vertical text column on the left side of the page)

98
30

Handwritten text on the right side of the page, possibly a title or reference.

Handwritten text in the upper right section, including the characters '喜' and '十'.

喜

十

- 一 湖島一平平一
- 一 三十三号一
- 一 杉妻一
- 一 表一

十

一 湖島一平平一

Small handwritten mark or character at the bottom left corner.

一 川名之町行石儀一

一 雲の初め甚道長物ノ守也一ありハリ年10ノ

一 沙之江ニ事ヲ行抄ノ下ノ中今如シ

月事ヲ如シ

此一町ノ名也

サ

一 常流上流ノ白雲ノ水ヲ下ニ流ル

神出ルニ今ノ

此一町ノ名也

サ

此一町ノ名也

一 油ノ一斗ノ

此一町ノ名也

一 此之町ノ名也

此一町ノ名也

一 市ノ名也

若此ノ油ノ

買取ル人下

此高堂ノ

此高堂ノ

此一町ノ名也

○身中一ノ司能下ノ
此ノ其也

第

一 漢ノ身中ノ地ノ其也

第

一 漢ノ身中ノ地ノ其也

一 漢ノ身中ノ地ノ其也

一 漢ノ身中ノ地ノ其也

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

東洋の富貴は天の賜なり

首一

一 湘東仁王御方有馬宮様

今度は方々橋上早下也

人信三人 信不入 林信四ノ 信七人

林信五ノ 林信六ノ 林信七ノ 林信八ノ

林信九ノ 林信十ノ 林信十一ノ 林信十二ノ

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

一 湘東仁王御方有馬宮様

川上... 三十五... 下...
...
...

同... 三十五... 下...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

10

一 川上... 三十五... 下...
...
...

一 川上... 三十五... 下...
...
...

一 川上... 三十五... 下...
...
...

一 川上... 三十五... 下...
...
...

一 川上... 三十五... 下...
...
...

一 遠くから来たもの、白く光るもの

一 山に生えるもの

一 舟中のもの、文量、言、時、成

一 二階、下湯、河、水、下、り

下

一 山に生えるもの

一 山中に生えるもの、花、草、木、等

一 二階、下、り、才、の、後、登、別、道、に、行、く、お、か

一 諸、多、分、け、下、り、所、中、一、五、の、心、と、云

一 吾、道、多、分、け、下、り、一、五、の、心、と、云

一 舟、中、に、生、え、る、花、の、草、木、等

一 舟、中、に、生、え、る、花、の、草、木、等

一 舟、中、に、生、え、る、花、の、草、木、等

一 舟、中、に、生、え、る、花、の、草、木、等

一 舟、中、に、生、え、る、花、の、草、木、等

一 舟、中、に、生、え、る、花、の、草、木、等

下

一 舟、中、に、生、え、る、花、の、草、木、等

一 舟、中、に、生、え、る、花、の、草、木、等

一 宿多美子所
 一 法教の事

Handwritten signature or title in cursive script.

一 湯二子

一 法中
 一 湯二子
 一 湯二子

一 湯二子
 一 湯二子

一 湯二子
 一 湯二子
 一 湯二子

一 湯二子

一 諸君は、

一 貴方は、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

一 貴方、

大正十一年

98
43

之次未及し感荷し、早午一喜、大略、
新居下町、此年名、
相希望也、

十二方

一 大正十一年

一 大正十一年

一 大正十一年

一 大正十一年

一 大正十一年

一 大正十一年

十方

一 大正十一年

一 大正十一年

一 大正十一年

一

因 江戸の事

終

廿三大道一 今をよりき一 千五の二下
早か一人九大道一 江戸右左三大道一

一

多のれりり事あり、任事方より二下
室可り、工の相田切ふちらるる、五治
布天下新うす、えるり月本州川
音評以故也、馬持事、皇軍、
音評以故也、馬持事、皇軍、
音評以故也、馬持事、皇軍、

十号

一

り去脱あるは、
音評以故也、馬持事、皇軍、
音評以故也、馬持事、皇軍、
音評以故也、馬持事、皇軍、

一

り、
音評以故也、馬持事、皇軍、

一

り、
音評以故也、馬持事、皇軍、

音評以故也、馬持事、皇軍、

音評以故也、馬持事、皇軍、

一

音評以故也、馬持事、皇軍、

十号

一

音評以故也、馬持事、皇軍、

三十一

人又著其于人川今入一 爲子古希之作
所衣下衣也之

一 正字指竹博河每十公至

一 若地悉取每十公今中十公以外

一 打火信從くし *Shimizu*

一 言山北送抄并く *Shimizu*

一 東門往車

Shimizu

Shimizu

十八日

一 浪一死子 *Shimizu*

一 浪子之人又 横田屋人 *Shimizu*

一 不孝之人 *Shimizu*

一 不孝之人 *Shimizu*

一 不孝之人 *Shimizu*

一 不孝之人 *Shimizu*

十九日 三秋 *Shimizu*

一 一人書言又 著者三力中 墨神老 *Shimizu*

上書

主地坊よりあり、幸し御座り候へども、
 一、主地坊よりあり、幸し御座り候へども、
 是清老に奉答し、右依本、平井、
 久前日、御座り候へども、
 平井、
 本年、
 中七、

一、
 一、
 一、

一、
 一、
 一、

一、
 一、
 一、

...

一 四のり外... 吉時... 田村...

一 吉言... 田村... 吉言... 田村...

一 吉言... 田村... 吉言... 田村...

一 吉言... 田村... 吉言... 田村...

147

廿九

- 一 鴻一子子
- 一 昭楷昭母叶
- 一 新允可也
- 一 作林
- 一 新之
- 一 品
- 一 成
- 一 再
- 一 昔
- 一 請
- 一 作
- 一 下
- 一 河
- 一 如
- 一 潜

...

御書
御書
御書

御書
御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

御書

一 御書

一 御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

一 御書

御書

Memorandum for the Board

First Report of the Board of Directors

1. The Board of Directors has the honor to acknowledge the receipt of your letter of the 10th inst.

in relation to the proposed changes in the charter of the Corporation.

The Board has considered the same and has decided to recommend to the stockholders that they be authorized to amend the charter in the following respects:

1. To change the name of the Corporation to the First National Bank of New York.

2. To increase the capital of the Corporation to the sum of one million dollars.

3. To change the term of office of the Directors from one year to three years.

4. To change the date of the annual meeting of the stockholders from the first day of January to the first day of May.

5. To change the date of the annual meeting of the Directors from the first day of January to the first day of May.

6. To change the date of the annual meeting of the Board of Directors from the first day of January to the first day of May.

7. To change the date of the annual meeting of the Board of Directors from the first day of January to the first day of May.

8. To change the date of the annual meeting of the Board of Directors from the first day of January to the first day of May.

Very respectfully,
The Board of Directors

Wm. H. Smith, President

1892

98
61

九十七